

忌部っ子だより



秋本番

10月に入ると少しずつ秋らしくなり、朝夕はとても過ごしやすくなりました。そして、校地内でも色づく木々が見られるようになりました。秋は文化・芸術・スポーツ・食欲の秋などと言われ、何をするにも良い季節ですが、こどもたちも、日々の学習はもちろんですが、芸術鑑賞会や市小中学校連合音楽会、学習発表会に向けた活動など、充実した学校生活を送っています。

連合音楽会

10月10日（金）、県民会館を会場に松江市小中学校連合音楽会が行われました。本校からは4～6年生が参加し、合唱曲「この星に生まれて」及び合奏曲「Believe」の2曲を発表しました。練習が始まったのは、1学期の終わりでした。当初は、思い通りに演奏できないこともあったと思いますが、あきらめることなく6年生を中心に昼休みにも自主練習を行うなど少しずつ「自信」を積み重ねていく姿が見られました。また、2学期になり、全体練習を通して、みんなの気持ちを揃えていく活動を重ねることで、どんどん演奏が上達していきました。

そして、本番当日。70名近いこどもたちの声や音の迫力や重なり的美しさを感じることで、できる素晴らしい発表を聴くことができました。会場からは、壮行演奏会の何倍もの拍手をいただき、積み重ねた「自信」がまた一つ大きくなったと思います。発表会後のこどもたちからは、何とも言えない満足感や達成感が伝わってきました。今回の音楽会を通して感じることで、音楽の素晴らしさ、あきらめないで続けることや心を一つに合わせることの大切さ等を、こどもたちには、今後の学校生活に生かしてくれることを願っています。

なお、今月24日（金）に実施される学習発表会では、さらにブラッシュアップした発表をご覧ください。ぜひ、ご期待いただきたいと思います。



※会場内での撮影が不可のため、画像は音楽会前日の学校での壮行演奏会の様子です。

県大生来校

9月25・26日（木・金）の2日間、県立大学の学生さんが「現場体験活動」として来校されました。この活動は、県立大学と県立大学短期大学部、乃木小、忌部小、幼保園のぎが連携に関する協定を結んでおり、その一環として行われているもので、本校の特色ある活動の一つです。両日とも、20名程度の学生さんが来校され、割り振られた学級に4名程度ずつ行き、そこで、学習の様子を観たり、参加したり、休み時間は一緒に遊ぶなど、本校で一日を過ごしました。教師の言動やこどもの様子に直に触れることができるなど、学生さんにとって学びの多い一日になったようですが、本校のこどもたちにとっても、普段とはまた違う「ワクワク」した気持ちで学校生活を過ごすことができ、メリッットの大きい一日となりました。



学習参加の様子

ふるさと忌部の「ひと・もの・こと」から学ぶ

この1ヶ月の間も多くの家庭や地域の皆様のご支援を受けながら、ふるさと忌部をはじめ地域の「ひと・もの・こと」から学ぶ機会がたくさんありました。ありがとうございました。

忌部郵便局さんのご厚意により、今年度も局内で「忌部小学校作品展」が開かれています。期間は、6年生が9月22日～10月3日、5年生が10月6日～10月17日に開催され、現在は、4年生が10月20日～10月31日、今後、3年生が11月17日～11月28日、2年生が12月1日～12月12日、1年生が12月15日～12月25日となっております。多くの皆様に、こどもたちの力作をぜひご覧いただきたいと思っています。

（画像は4年生の作品）



4年生は、総合的な学習の時間に「みんなで調べる宍道湖流入河川調査」に参加し、忌部川の水質調査を行っています。9月30日（火）には、第3回目の調査を行いました。今回は、調査地点を宮内地区からより下流域の千本地区へ移動し、前回同様、透視度とCODパックテストを行うことができました。



水質調査

3年生は、社会科の学習で、宍道湖漁協さんのご支援とご指導のもと、しじみ漁について学んでいます。10月1日（水）には、宍道湖湖上で、実際のしじみ漁を体験することができ、松江市の特色ある産業と漁の工夫や努力を実感することができました。また、引率ボランティアとして、多くの保護者の皆様にもご協力いただきました。

1・2・3年生は、御津フィッシャーメンズファクトリーさんのご支援とご指導をいただき、タッチプールで海の生き物と触れ合ったり、触れ合った魚を絞めたり、捌いたりするところを見学することで、生き物が生命をもっていることに気づき、生命あるものとして大切にすることを高めることができました。



しじみ漁体験